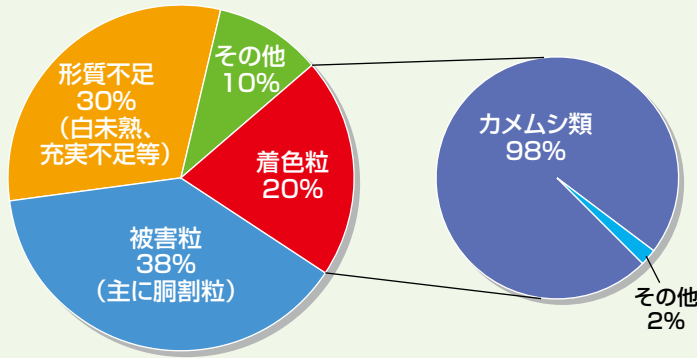


栃木米品質向上のための 斑点米カメムシ対策

2等以下に格付けされた主な理由(23～27年産)



栃木県産米の品質低下理由のひとつは、着色粒(斑点米カメムシ)です。

斑点米被害を防ぐためには、水田にカメムシが近寄りにくい環境を作ること、薬剤による効果的な防除を行うこと、が重要です。

特に山間地、早生品種は要注意です。

カメムシを寄せ付けない新しい耕種的防除技術

「畦畔2回連続草刈」

畦畔2回連続草刈とは、水稻の出穂2～3週間前と出穂期頃の2回連続で草刈し、イネ科雑草の穂を作らせず、カメムシを寄せ付けない技術です。



イネの出穂前後6週間はカメムシを寄せ付けないようにするため、イネ科雑草の穂を作らせない!

ポイント①

カメムシは稲穂よりもイネ科雑草の穂を好む傾向がある

ポイント②

草刈によるイネ科雑草の出穂抑制期間は、最大3週間



(写真：栃木県農業環境指導センター提供)

「畦畔2回連続草刈」を実施しても水田内にカメムシが見られるときは…

適期をのがさず防除しましょう！

出穂期にカメムシが水田内で見られる場合は、乳熟初期（出穂期7～10日後）までに防除しましょう。望ましい散布時期は、**粒剤は出穂期～7日後、粒剤以外は乳熟初期**となります。その後もカメムシが見られる場合は、7～10日間隔で1～2回の追加散布を行いましょう。

カメムシの常発地では、2回防除が基本です。

(平成28年4月13日現在)

薬剤名	希釈倍率又は使用量	使用期限/使用回数
スタークル1キロH粒剤	1kg/10a	収穫7日前まで/3回以内
ダントツ粒剤	3～4kg/10a	収穫7日前まで/3回以内
スタークル液剤10	1000倍	収穫7日前まで/3回以内
キラップフロアブル	1000倍～2000倍	収穫14日前まで/2回以内
MR.ジョーカーEW	2000倍	収穫14日前まで/2回以内
スミチオン乳剤	1000倍	収穫21日前まで/2回以内
トレボンEW	1000倍	収穫14日前まで/3回以内

飼料用米も適切に防除しましょう！

周辺で主食用米が栽培されている場合は、カメムシの発生源とならないよう、水田内や畦畔の雑草管理を行うとともに、地域の実情に合わせて防除を行う必要があります。

※籾米での給与が想定される場合は、一部の農薬成分を除き出穂以降の農薬散布は行えません。使用にあたっては、農薬登録内容の確認を行い正しく使いましよう。

1度だけの草刈では…

カメムシが水田内に逃げ込まないように注意が必要です！

イネ科雑草は刈った後3～4週間で出穂します。このためカメムシの生息密度を下げるため「畦畔2回連続草刈」を推奨していますが、実施できない場合はイネ科雑草の出穂間近の7月中下旬には草刈を行い、イネ科雑草の出穂を遅らせカメムシの飛来を減少させることが大切です。

水稻の出穂直前の草刈は、水田に追い込むかたちになって逆効果になるので、出穂10日前までに地域全体で計画的に作業を済ませましよう。

